

地域包括ケアシステムについて

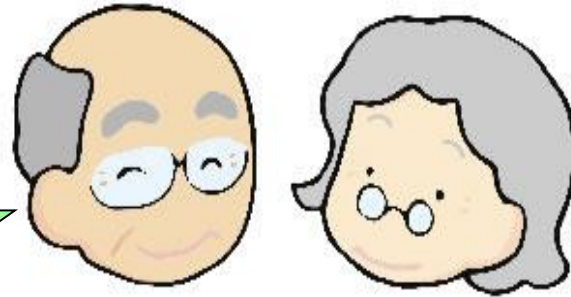


都留市役所 長寿介護課
深澤祥邦

都留市の高齢者の様子

H28.4現在

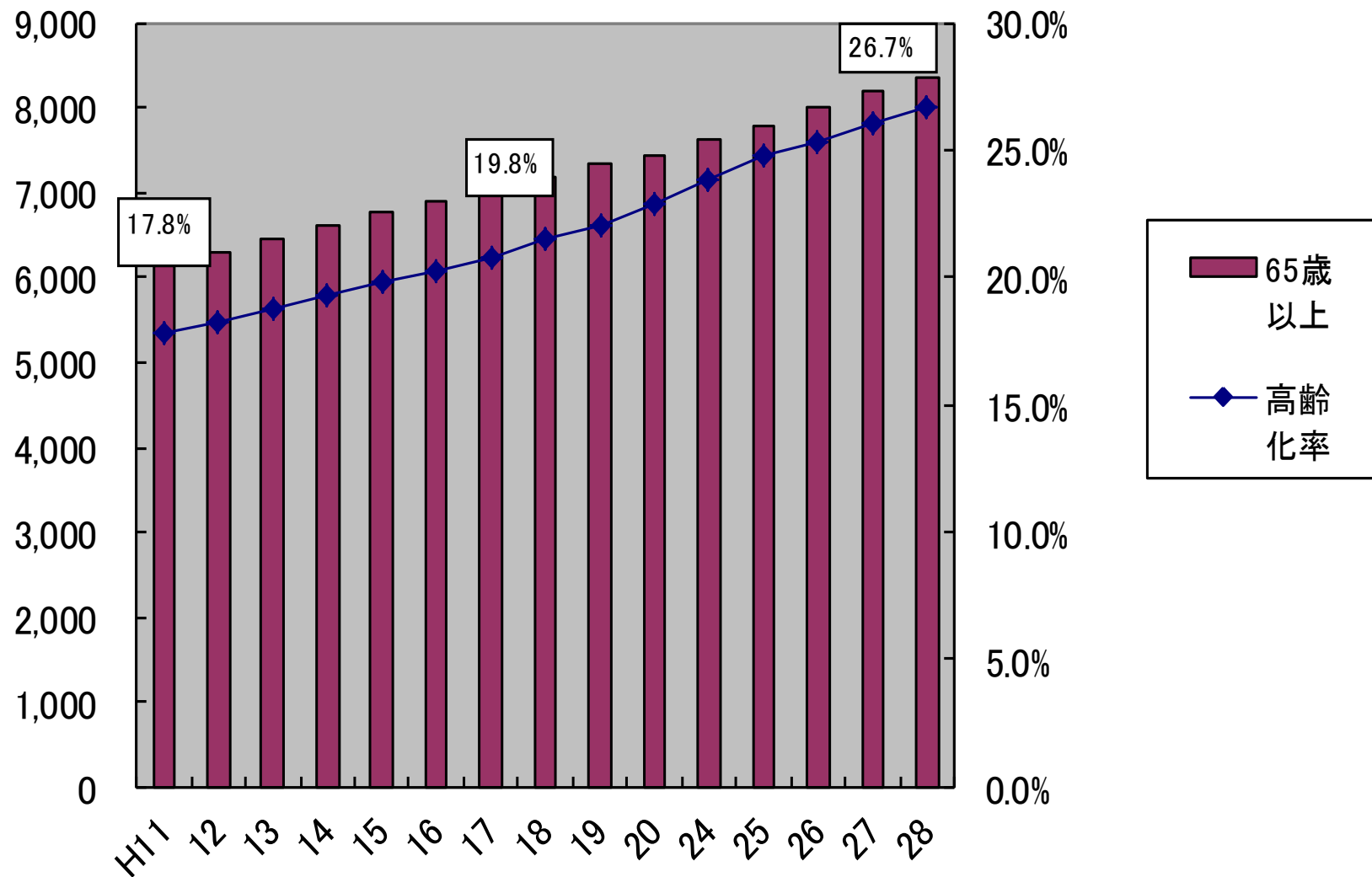
高齢者人口 8,358人(全人口31,319人)
高齢化率 26.7%



高齢者世帯
・ひとり暮らし
1,501人
・夫婦世帯
1,230世帯

認知症高齢者815人

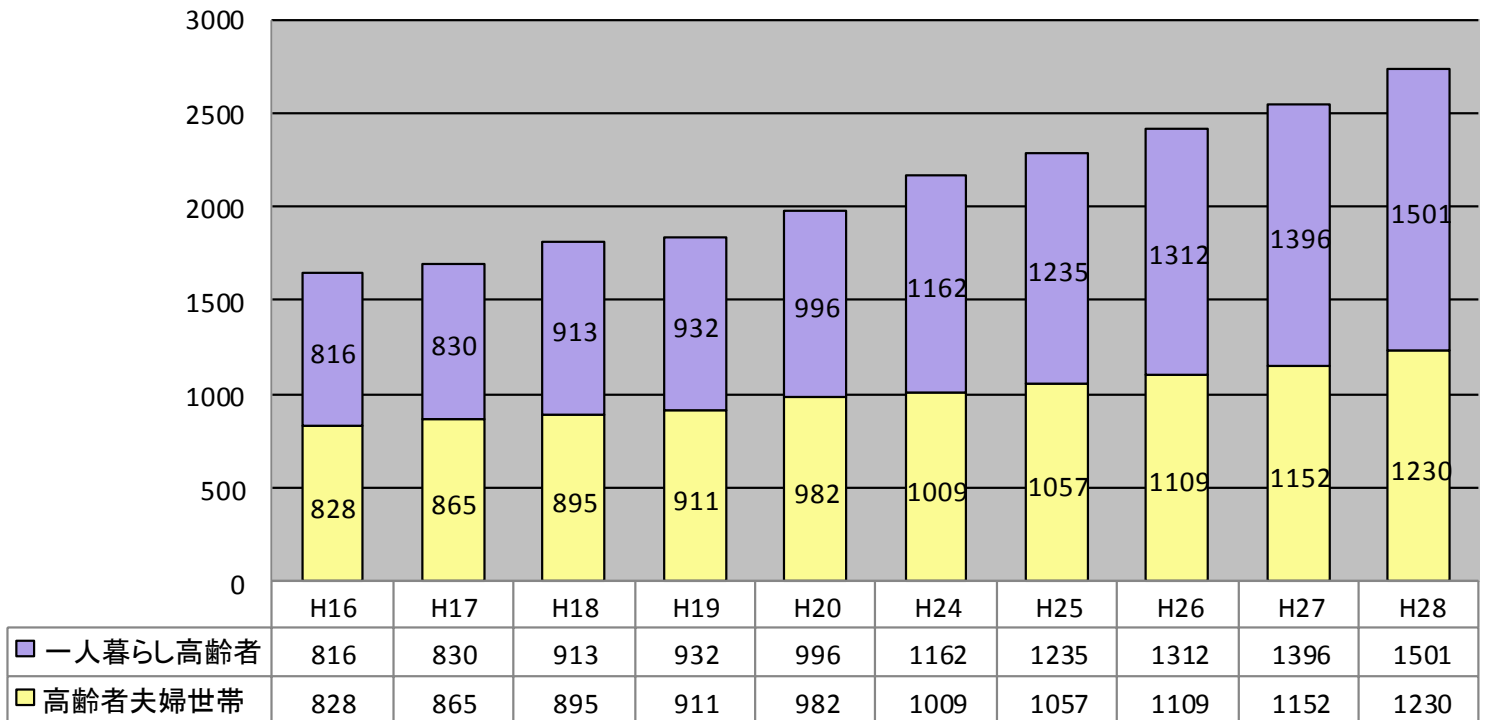
都留市の高齢者人口と高齢化率



H28年4月現在

都留市の高齢者世帯

都留市の高齢者世帯

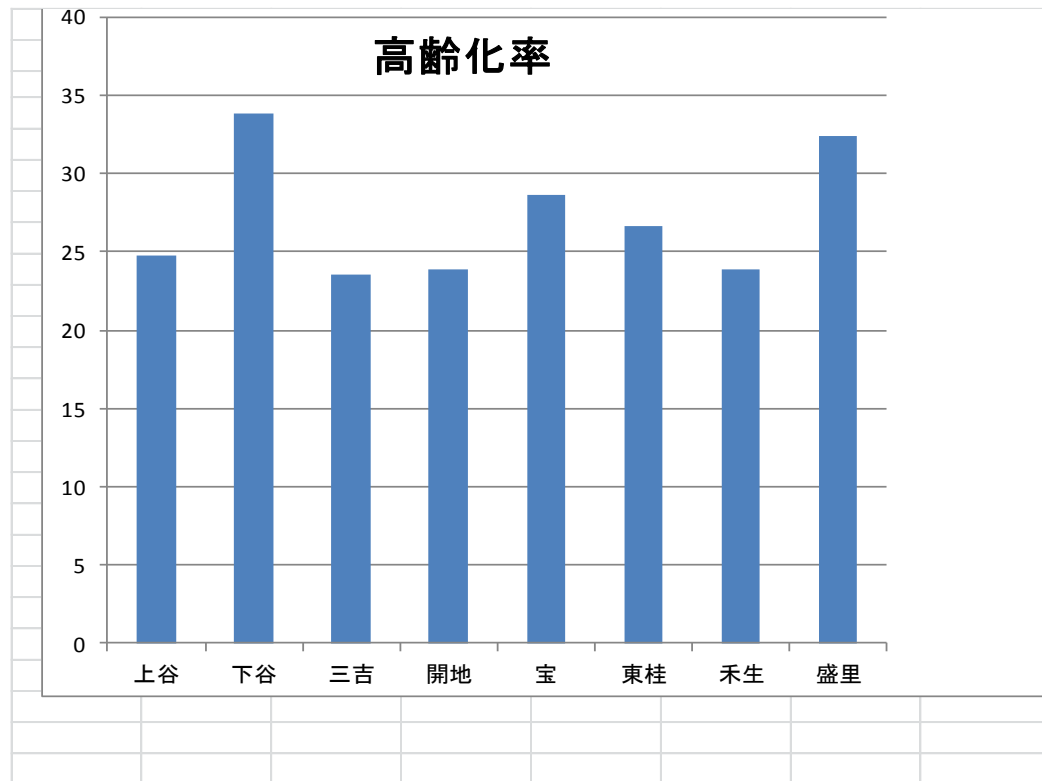


高齢者福祉基礎調査

地区別高齢者の状況



総人口31,319人
65歳以上人口8,358人



都留市	26.7	
上谷	24.8	
下谷	33.8	(1位)
三吉	23.5	
開地	24.9	
宝	28.6	(3位)
東桂	26.6	
禾生	23.9	
盛里	32.4	(2位)

住み慣れた地域でできる限り 継続して生活を送れるように 支えるためには

- ▶ 個々の高齢者の状況やその変化に応じて、介護サービスを中核として、多様な支援を継続的・包括的に提供する仕組みが必要となる。
- ▶ 高齢者のニーズに応じて、介護、医療、予防、住まい、生活支援に関するサービスを適切に組み合わせ提供することでいつでも対応可能な「地域包括システム」の構築が重要となる。

地域包括ケアシステム

○団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、

住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を実現していきます。

○今後、認知症高齢者の増加が見込まれることから、認知症高齢者の地域での生活を支えるためにも、地域包括ケアシステムの構築が重要です。

○人口が横ばいで75歳以上人口が急増する大都市部、75歳以上人口の増加は緩やかだが人口は減少する町村部等、**高齢化の進展状況には大きな地域差が生じています。**

地域包括ケアシステムは、保険者である市町村や都道府県が、地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じて作り上げていくことが必要です。

地域包括ケアシステム

地域包括ケアシステムのイメージ

医療

在宅医療等
訪問看護



介護

・グループホーム
・小規模多機能
・デイサービス
など



通院 通所

地域包括支援
センター・
ケアマネジャー

相談業務やサービス
のコーディネートを行
います。



自宅・ケア付き
高齢者住宅 住まい

訪問介護
・看護

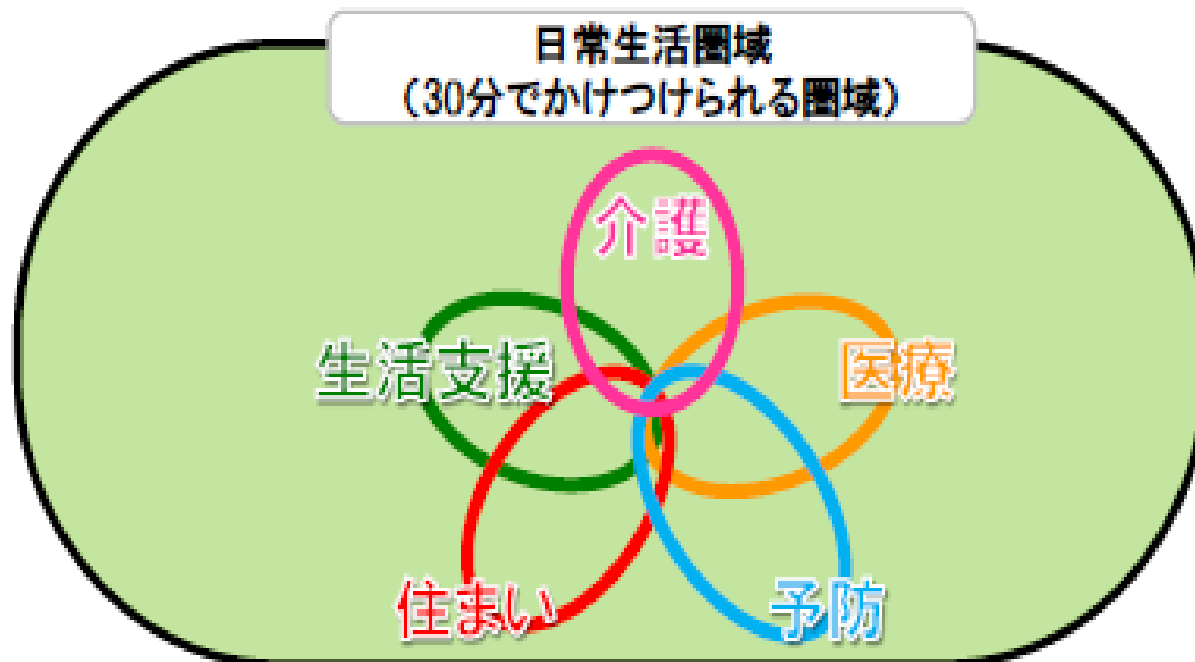
24時間対応の定期巡
回・随時対応サービ
スなど

生活支援・介護予防



老人クラブ・自治会・介護予防・生活支援 等

※地域包括ケアシステムは、人口1
万人程度の中学校区を
単位として想定



【5つの視点による取り組み】

包括的、継続的に行われることが必要

- 1、医療との連携強化
- 2、介護サービスの充実強化
- 3、予防の推進
- 4、見守り、配食、買い物など多様な生活支援サービスの確保や権利擁護等
- 5、高齢期になっても住み続けることができるバリアフリーの住まいの整備

地域包括ケアシステムにおける 「5つの構成要素」



人的連携の視点(住まいの確保前提に)

医療・介護等連携

医療

医師
歯科医師
薬剤師
看護師
PT・OT・ST
歯科衛生士

介護

無資格介護職
ホームヘルパー
介護福祉士
社会福祉士
精神保健福祉士
MSW(社会福祉士)
介護支援専門員
管理栄養士
保健師

シームレス

地域生活支援サービス

商工会
社協
生協
LSA等
宅建主任等
認知症サポーター
NPOメンバー
ボランティア
自治会会員
その他多数

福祉・権利擁護等

弁護士
司法書士
法定後見人
補助人
補佐人
ケースワーカー
民生委員
日常生活支援員

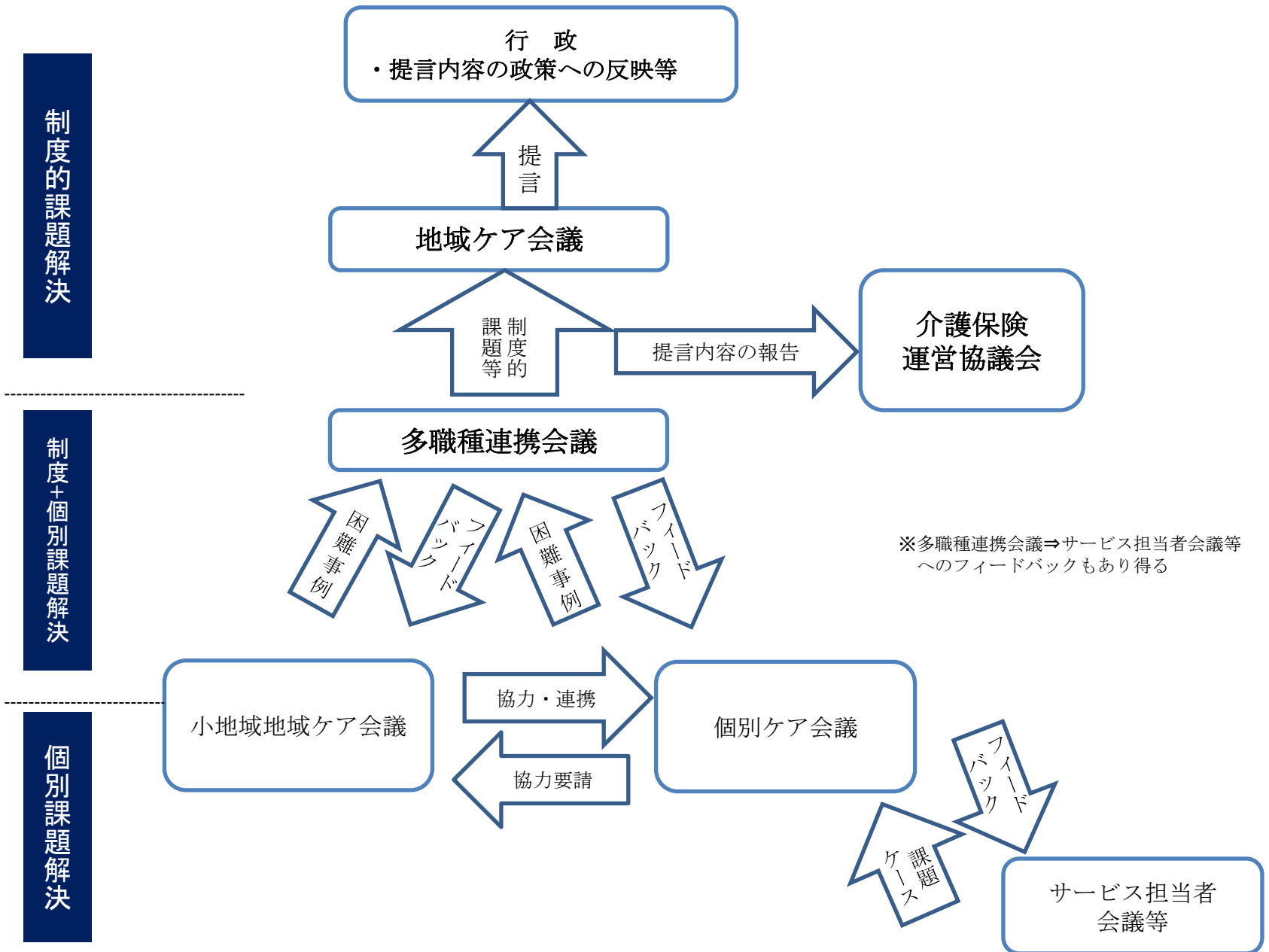
包括ケアの推進

- 市町村の長期計画
- 介護保険計画・高齢者保健福祉計画
- 地域福祉活動計画

【課題】

- 時間がかかる
- 可視化しにくい
- すぐに成果がでない

都留市地域ケア会議の全体イメージ (地域ケア会議を活用した課題解決フロー)



**いつまでも元気で！！
安心して暮らせるまちをめざして**

